

なつかし多度津のまち歩きエリア



弥谷道・こんぴら街道分岐道標と金毘羅燈籠
 こんぴら街道の起点を示す分岐道標。鶴橋を挟んで金毘羅燈籠があり、ここがこんぴらさんへ向かうまでの重要な通過地点だったことが分かります。

本通り周辺エリア

金毘羅信仰が盛んだった江戸時代中期以降、多度津の港に上陸した金毘羅参詣客は本通りや、そのほか何本かある港発のルートを通ってこんぴらさんを目指しました。多くの金毘羅参詣客で賑わった本通り周辺には商家が多く、出身地や家業に因んだ屋号が残っているところもあります。

えびす神社
 廻船問屋や商人の名前が刻まれている玉垣からは、港で栄えた多度津の歴史が偲ばれます。

雁木
 昔は桜川の川幅がもっと広く、船はこの雁木に接岸し、物資の積み下ろしをしていました。

宮崎時計店 屋号:天雷堂
 店内の大きな外国製の柱時計は、日本に数台しか残っていないとされる貴重なもの。
 【営】8:30~19:30
 【休】第1・3日
 【TEL】0877-32-2366

合田酒店 屋号:柳井屋
 かつては港から讃岐三白(砂糖・塩・綿)を積み出す廻船問屋。店舗が山口県柳井にあったことが屋号の由来です。酒造のコレクションも面白い。
 【営】8:00~19:00【休】日
 【TEL】0877-32-2777

石川金物店
 大きな蔵は、多度津七福神の一軒が所有していたもの。立派ななまこ壁が財力の証です。

金木屋呉服店 屋号:金木屋
 江戸時代、船金具を作る船鍛冶屋を営んでいたため、このよつ屋号が付けられたとぞう。
 金木屋

よっていってやー
 多度津商店街の様子やイベントの写真を展示。ぜひ覗いてみてくださいね。
 【TEL】0877-32-3467(要予約)

清水温泉
 大正末~昭和50年代半ば頃まで賑わったまちの銭湯。レンガ造りの煙突が当時の面影を残しています。

合田邸 屋号:鳥屋
 多度津七福神の1家、合田家の邸宅。ステンドグラスやレンガ造りの蔵が、当時の栄華を物語ります。

神原薬局 屋号:茶屋
 「茶の七」の呼び名で買屋業を営んでいたことが屋号の由来。多度津の古い写真を紹介してくれます。金鳥のレトロな看板も探してね。
 【営】8:30~18:00【休】日・祭日
 【TEL】0877-32-3216

小国博義邸・小国隆太郎邸 屋号:備前屋
 明治中頃までは餅やまんじゅうの製造販売所として、こんぴら参りのお土産「でんごもち」は当時の多度津名物でした。江戸時代の当主が岡山藩の武士だったことが屋号の由来。

塩田邸 屋号:岡山屋
 かつては「取」(むしるを二つ折りにして作った炭)を取り扱う商家。格子窓の刀傷は、商家の繁栄に反感を持った武士が斬りつけた跡だと言われています。

少林寺拳法旧道場
 少林寺拳法発祥の地。現在は、桃陵公園に練成道場があります。

柳原菓子店
 看板商品は多度津に伝わる逸話にちなんだ「一太郎やいせんべい」。うちは珍しい餅も美味しい。
 【営】8:30~19:00【休】日
 【TEL】0877-32-2731

金毘羅燈籠
 こんぴらさんへ向かう参詣客の道しるべ。

菓舗三宅
 眞身船をぶんわりとした生地で包んだ銘菓「たごつ太鼓」。優しい味が懐かしい。
 【営】9:00~19:00【休】不定休
 【TEL】0877-32-3491

たごつ一ロコラム
「一太郎やあい」のはなし
 老母が日露戦争に向かう息子を見送るために20kmもの距離をわらしがけて駆けつけ、岸壁から離れ行く船に向かって激励したといふ心温まる話。桃陵公園にはその母性愛に満ちた老母の姿を再現した「一太郎やあい」の銅像があります。

弥谷道・こんぴら街道分岐道標と金毘羅燈籠へ